

ケネス・チェ氏公開レッスン&コンサート 報告書

管楽器コース サクソフーン教授 岩本伸一

開催日時:2018年10月25日(木) 18:00

場所:シルバーマウンテン2階

現在アイオワ大学教授として、世界の第一線で活躍しているケネス・チェ氏を招き、マスタークラスのレッスンと模範演奏を行った。倉敷市でのサクソフーンフェスティバルにも招かれており、久しぶりにアメリカンスタイルの奏者のレッスンと生演奏に触れる機会となった。

ケネス・チェ氏プロフィール

クラシックサクソフーン奏者として、世界の第一線で活躍しているケネス・チェ氏は、卓越したサクソフーン奏者の一人であり、多くのファンから支持を集めている。1996年のニューヨークアーティストインターナショナルコンペティションで優勝。カーネギーホールでのデビューリサイタルは、ニューヨーク・タイムズ紙から「若きヴィルトゥオーゾ」と絶賛された。現在3年毎に行われるワールドサクソフーンコンGRESSや、北米サクソフーン・アライアンスにしばしば招かれている。指導者としてもその才能を開花させ、客員講師としてカリフォルニアバンド指導者協会、アイオワバンド音楽教育者協会、中西部国際バンドオーケストラクリニックで指導をしている。

7枚のCDをクリスタルレコードより発売し、他の奏者からのサポートを受けながら、サクソフーンのレパートリー拡大を図っている。新しい音楽を開拓する氏には35を超える曲が献呈されており、米国だけでなくコロンビア、コスタリカ、フランス、ロシア、スペイン、カナダ、オーストラリア、そしてベルギーの主要な作曲家と共に仕事を進めている。

また、故郷・香港への恩返しとして、香港国際サクソフーン協会を設立すると共に、2009年より2年毎に香港国際サクソフーンシンポジウムを開催。アジアやオセアニア地域のサクソフーン奏者との交流を図ると共に、国際的に活躍するサクソフーン奏者を講師として招いて行うイベントを成功させている。

現在アイオワ大学で教授として教鞭を執っており、国際サクソフーン協会の会長を務めている。

当日のプログラム

☆マスタークラス 通訳:木村圭太(インディアナ大卒、チューバ奏者)

学部生 4年	ブートリー・ディバルティメント	伴奏 羽石道代
学部生 4年	イベール・室内小協奏曲	伴奏 原田 愛
学部生 4年	ムチンスキー・ソナタ	伴奏 原田 愛

レッスン風景と受講生の感想



ケネス先生は常に、自分の音楽が聴衆にどう聴こえているか、ということを考えていらっしやいました。それは私のように自分のことだけで精一杯になってしまう学生にとってものすごく難しいことですが、本来一番に考えるべきことだと改めて気付かされました。先生のレッスンを受けて曲へのアプローチの仕方が変わりました。

(学部生 4 年)



アメリカを中心に世界でご活躍されているケネス先生のレッスンは、普段とは全く違う角度から音楽を見ていると感じました。

マスタークラス全体を通して、フィジカル面からなどのご指摘も頂くことができ、普段は忘れがちな部分はとても重要なことを担っていると教えて頂いたと思います。とても勉強になりました。

(学部生 4 年)



今回、マスタークラスを受講して一番感じた事は考えの柔軟性がいかに大切かという事です。受講曲ではフラジオを使用する箇所が幾つかあり、ケネス先生からもっと楽に、且つ自然にできる運指を教わりました。また、普段あまり口の中の事など、イメージしにくい所に関して考えた事がありませんでしたが、舌の位置や息の入れ方をイメージし、工夫する事で演奏の幅が広がるという事にも気づかされました。

(学部生 4 年)

受講生のレベルも高く、ケネス氏も熱心にメモを取りながら学生の演奏を聴いていた。全体に学生の感想にあるように、とても有意義なマスタークラスレッスンとなった。また通訳の木村圭太氏と偶然同じインディアナ大学で学んだ両者は、直ぐに意気投合し、専門的な通訳で分かりやすく、とてもスムーズに進行した。

主にフランスで栄え、今や世界中で優秀な演奏家が活躍しているサクソフォン界。音楽の本質は揺るぎはないが、各国や個人の性質によるアプローチは様々である。同じアジア人ながら、アメリカで研鑽を積み同国で認められたケネス氏のレッスンは、とても柔軟かつ、的確なアドバイスを与えていた。

☆模範演奏 伴奏 Casey Dierlam

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ・Rapsodie | Jules Mouquet |
| ・Hot-Sonata I.II. III. IV. | Erwin Schulhoff |
| ・Back to Bach | Jean-Denis Michat |
| ・Ocres rouges | Alexis Ciesla |



アメリカより、ピアノのケーシーさんも来日し、息のあった素晴らしい演奏を聴かせてくれた。サクソフォン専攻生始め、教員も数名来場し始めて耳にする曲とケネス氏の力みのないアメリカンな演奏に、皆心が暖まる時間を共有でき、とてもいい海外招聘の場になった事を報告させていただきます。